

**2008年度 図書館サービス・システム委員会 実務担当者研修会
ワーキングC 活動概要**

テーマ	利用指導: 情報リテラシー教育の基礎的理解と利用指導の実践		
概要	図書館が担うべき情報リテラシー教育についての基本知識を習得し、「利用者のリテラシー能力を育成することができる講習会についての実践的な手法」を学ぶ。あわせて、各所属機関での利用教育について情報交換および討議を行う。最終目標は、所属機関での講習会の開催および指導レベルの向上とする。		
講師	紅露 剛 氏	所属	南山大学図書館

事前	1. 自己紹介: 担当業務、経験年数 2. 事前課題: 基調文献『図書館利用教育ハンドブック』(ISBN:4820402307)の精読 および自館の利用教育に関する現状レポートの作成 3. 情報交換: 先進的事例の紹介や参加機関のHP参照等も含む 4. 研修会当日ワーキングの準備: デモ講習会(経験者) or 講習会企画案(未経験者)の作成 ※作成ツールとして、全員Microsoft Office PowerPoint 2003を使用すること		
当日	【報告】 図書館における情報リテラシー教育についての小講義および活動報告(講師)		
	【1日目】 個人発表→発表内容の検討・評価 情報交換		
	【2日目】 個人発表→発表内容の検討・評価 情報交換とまとめ→全体報告用スライドの作成(小川委員主導)		
	【発表】 当日ワーキングの活動内容報告(小川委員)		
事後	■個人発表の更新(各館での実践結果報告やワーキングで得た知見などをファイルに付加) ■研修会参加レポート ■全体報告ファイルの更新		
そのほか (特記事項等)	■参加対象者: 現在、講習会開催を含む利用指導の業務を担当していること。 できれば、本研修会終了後半年以内に、講習会を担当する予定があることが望ましい。 ■基調文献となる『図書館利用教育ハンドブック』は、参加者各自もしくは参加機関で用意すること。 ■参加者持参: デモ講習会用のファイル、各館が現行で使用している教材や申込用紙、USBメモリ(必要な場合) ■担当者持参: PC、プロジェクター、タイムキーパー用ツール、他関連機器		

委員※	小嶋 智美	所属	愛知淑徳大学図書館
委員	小川 真智子	所属	愛知工業大学附属図書館
委員	鈴木 卓美	所属	金城学院大学図書館
委員	尾崎 友子	所属	名古屋女子大学学術情報センター

※ワーキング責任者